



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために…

チャレンジ 

10月号 OCT 2021

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



「ちがったしてんでかんがえよう」

新型コロナウイルス感染症で罹患された皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆様、病院関係の皆様、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご尽力されている皆様に心より感謝を申し上げます。

10月1日は節目の日となったのではないのでしょうか。緊急事態宣言が解除となりました。首都圏ではまん延防止も緊急事態宣言も出ていない状況というのは本当に久しぶりに思います。

これまで新型コロナ関連で影響が大きかった、飲食や旅行、イベントといった業界の方の期待は一層大きいものと思います。

当社におきましても業務需要の低下で販売においては非常に苦しい状況が続いていました。そしていよいよ10月1日から我々の業界も動き始める！という雰囲気の中ではあるのですが…

現在の玉葱を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっています。マルト便9月号でもお伝えしましたが、年間のうち75%を賄う北海道産玉葱が今シーズンは凶作となりました。最終的な北海道の生産量が出るのはまだ先とはなりますが、過去5年との比較では大幅に出荷量が落ちる見込みです。

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が解除になり、世の中は動き始め、今後経済活動も活発に動き始めていくのだと思います。しかしながら、我々玉葱剥き加工業態においては、新たな緊急事態宣言が発出された状態となってしまっています。

今期北海道産玉葱は、原料の確保も難しく、剥き玉葱製造においても、通常時の生産能力の半分程度の効率となっています。また、歩留の面も大きく悪化しており、製造にあたって大幅なコスト増になっているのが現状です。

世間が動き始めたこのチャンスに、これまでのマイナスを何とか取り戻さないといけないのですが、お客様からのご注文にどうしても生産能力が追いつかない。やりきれない思いです。

厳しい現状ではありますが、なんとかこの苦境を乗り越えられるように、様々な視点から現状を見つめて対応策や新展開を検討していきます。

皆さまのお力をお借りしながらとなりますが、従業員一同必死になって知恵を絞りお客様の事業に貢献できますよう努めて参ります。

北海道産玉葱のシーズンは始まったばかりです。来年5月までの長い期間となりますので、皆さまと随時情報を共有させて頂きながら今後の供給体制を整えて参ります。何卒宜しくお願い致します。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

いよいよ9月30日を最後に新型コロナウイルス対策で19の都道府県を対象にした緊急事態宣言と8県へのまん延防止等重点措置が全面解除されることとなりました。10月1日からはまだ制限があるとはいえ、だいぶ落ち着いた日常が帰ってきそうです。個人的にはマスクが不快でいやだなと思うことが多いですが、本当に待ち遠しかったです。そういえば、昨日のお昼を食べたお蕎麦屋さんでも、10月1日からのお店の営業のことで店主が張りきっていて、久しぶりに感じた、明るい雰囲気でした。

新型コロナの状況が落ち着いてきたのは、みなが行動に気をつけたりする意識も大きな理由だと思いますが、高齢者を中心としたワクチンの接種が進んだことが、感染者数や重症患者の減少一番大きな効果かもしれません。ただ最近でこそワクチン接種も落ち着いていますが、春ごろは「どうやって申し込めばいいのかわからない」、「いったいつ順番が自分に回ってくるのか」などといった不安の声が私の周りにも多く聞こえてきました。役所も初めてのことで、混乱が相次ぎそれはもうたいへんだったそうです。自治体によっても申し込みのやり方がそれぞれ違うようで、特に高齢者にとってはインターネットを使ってやり方が難しかったようで、私の母も近くに住む私の妹の力を借りて、なんとか申し込みをすることができたと言った様子で電話で伝えてくれました。

そんななか、宮城県登米市のやり方がとても好評でスムーズだったという記事を読みました。題して『はがきを活用したアナログ作戦』です。接種日と会場をあらかじめ個人に振り分けて、はがきで通知するというものです。都合の悪い場合や個別摂取を希望する時のみ、コールセンターに電話するのだそうです。なによりも高齢者にとっては、接種日時が印刷されたはがきが届くという安心感があるようで、『はがきを活用したアナログ作戦』は順調に進んだようです。市の接種対策室の担当者も、クレームもほとんどなく感謝の言葉をもらうこともあり職員が元気づけられると話しているそうです。私もそうですが、印刷されたはがきが手元にあるといくのは安心感がちがいます。

じつは登米市でも4月末まではインターネットや電話による予約が必要な方法で準備していたそうですが、他の自治体での相次ぐトラブルを知り、“高齢者に負担をかけない方法”を検討し、はがきを使った方法に切り替えたそうです。あたりまえのようにインターネットを使ってということにとらわれずに、ユーザーの立場を考へての柔軟な対応には学ぶことが多いです。これからさらに高齢化社会をむかえるにあたり、消費者としての高齢者にいかに自社の商品やサービスに目を向けてもらえるのかというのは多くの企業にとって重要な課題のひとつだと思います。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。

<http://www.kino-company.com>

10月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	北海道	凶作の年に・・・ サイズ小さく、重量も軽い状況です 加工苦戦中
輸入黄玉葱	中国	価格は上昇傾向か？
中国剥き玉葱	甘肅省	薄皮の付着が多い 引き合い強く 価格上昇傾向
国産赤玉葱	北海道	サイズ小さく、重量軽い 加工苦戦中
輸入赤玉葱	USA	—

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315